

エコアクション21環境経営レポート

第8版 対象期間 2023年度(2023年4月1日～2024年3月31日)



株式会社 光島

長崎県長崎市松崎町1409番地2

作成 2024年7月30日

目 次

1. 環 境 経 営 方 針	P1
2. 事業活動の概要	P2、P3
3. 組織図	P4
4. 環境経営目標	P5
5. 主な環境経営計画の実施内容	P6
6. 環境経営目標の実績とその評価	P7
7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	P8
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認、及び評価の結果並び に違反、訴訟等の有無	P9
9. 代表者による全体の評価と見直し・指示	P9
10. 環境活動の紹介	P10

1. 環境経営方針

○ 基本理念

株式会社 光島 は、長崎市に於いて産業廃棄物の最終処分を業としており、地球環境への負荷軽減に努めます。

また当社は、事業活動を通じて地域の環境美化の保全及び向上に努め、良き隣人として、地域住民から信頼される企業を目指します。

○ 環境経営方針

1. 省エネ及び排気ガスの抑制に努めます。
2. 廃棄物の削減・リサイクルに努めます。
3. 水資源の使用の効率化・使用量の削減に努めます。
4. グリーン購入法に基づき、グリーン購入を推進します。
5. 当社の事業に関連する環境の法規制を遵守します。
6. 行政・他団体・地域住民・取引関係者とコミュニケーションを図り情報の交換など協力し合うことを推進します。
7. 環境経営方針は全従業員に周知し、環境経営レポートとして社会に公表します。
8. 環境経営の継続的改善を誓約します。

改定 2023年 3月28日

株式会社 光島

代表取締役 田中正人

2. 事業活動の概要

(1) 社名及び代表者

社 名 : 株式会社 光島
代表者名 : 代表取締役 田中正人

(2) 所在地

- 株式会社 光島(本社) 〒851-2205長崎市松崎町1409番地2
TEL 095-850-2311 FAX 095-801-3673
- 本社・松崎町安定型最終処分場 〒851-2205長崎市松崎町1456番地3他21筆
(設置年月日:H28.6.1)
- 西海町安定型最終処分場 〒851-3101長崎市西海町2608-1他

(3) 環境管理責任者

川原 正彦 E-mail: kawahara@mitsushima-n.net

(4) 事業活動の内容

- 産業廃棄物処分業(安定型最終処分場)

(5) 事業の規模

資本金 1000万円 設立年月日 1990年5月
年商 26,138万円(2022年8月~2023年7月)
従業員数 14名
埋立(安定型)最終処分場:埋立地の面積・埋立容量
詳細は次頁、(9)許可内容参照

(6) 認証・登録の範囲

当社は全組織・全活動を認証・登録の対象範囲としています。

(7) 受託した産業廃棄物の処理量 (期間4月~翌年3月)

項 目	単 位	2021年	2022年	2023年
最終処分(本社・安定型処分)	t	22883.46	23349.99	23607.27

(8) 産業廃棄物処理料金

収集運搬・処分の料金は物品・量により異なりますので御見積りいたします。

お問合わせ先:株式会社光島 TEL 095-850-2311(本社)

(9) 許可内容

○産業廃棄物処分業(最終処分)

1) 事業の範囲

許可	許可番号 許可年月日 有効年月日	事業の区分	産業廃棄物処分業(最終処分)
		処分の方法	埋立
		産業廃棄物の種類	
長崎市	07931000569号 平成29年7月18日 令和6年7月17日	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、鋳さい(令6条第1項第3号イ(6)により環境大臣が指定した産業廃棄物に限る。)、がれき類以上5種類	

(これらのうち、石綿含有産業廃棄物であるものを含み、特別管理産業廃棄物であるものを除く。)

2) 事業の用に供する全ての施設

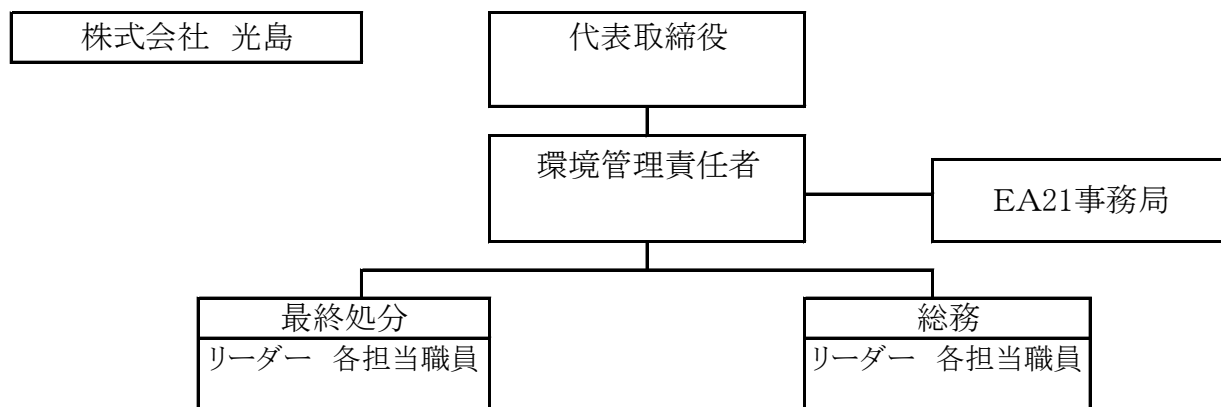
施設の種類	設置場所	設置年月日	処理能力	許可年月日
				許可番号
安定型最終処分場	長崎市西海町2608-1他	H2.5.17	埋立地の面積 56,540m ²	H18.4.26(変更許可)
			埋立容量 1,490,293m ³	792101045
			残容量 28,678m ³	測量実施日 R4.3.31
安定型最終処分場	長崎市松崎町1456番地3外21筆	H28.6.1	埋立地の面積 68,289m ²	R4.3.24(変更許可)
			埋立容量 894,664m ³	791101071
			残容量 603.053m ³	測量実施日 R6.3.31

○運搬車輛、重機等の種類と台数

区分	車種		台数
最終処分	建設機械	PC121.0kW	5台
		PC54.4kW	1台
		PC30.0kW	1台
	ダンプ	10t	2台
	ダンプ	4t	1台
	散水車	4t	1台

3. 組織図

当社は全組織・全活動を認証・登録の対象範囲としています。



【役割と権限及び責任】

1. 代表取締役

- ・環境経営方針を策定する。
- ・環境管理責任者を任命する。
- ・環境経営目標及び環境経営計画を承認する。
- ・環境経営システムの構築、運用、環境目標及び行動計画に必要な資源（人的、物的、財務、情報）を用意する。
- ・定期的に環境経営システム、方針、目標の見直しを行う。

2. 環境管理責任者

- ・代表者に代わり環境経営システムを構築・運用し、取組み結果を確認・評価し代表者に報告する。
- ・環境経営システムに関する記録を管理、保存する。
- ・教育・訓練の実施の年間計画の策定、社内外における環境コミュニケーションのとりまとめ。環境上の緊急事態への対応策を定め、そのための準備や訓練の実施の管理、環境関連文書及び記録の作成・整理を行う。
- ・代表者に代わり環境経営システム全体の構築・運用に責任を持つと共に、必要な権限を持つ。

3. EA21事務局

- ・環境管理責任者を補佐し、EA21活動の全社・各部門の推進をおこなう。

4. リーダー

- ・各担当部門における環境活動を率先して行い、環境経営目標及び環境経営計画の実施と結果の報告。
- ・各担当部門での環境負荷の低減に努める。

5. 各担当職員

- ・各担当部門の環境活動を率先して行う。
- ・担当環境作業を実施し結果をチェックし記録をとり、リーダーに報告する。

4. 環境経営目標（2023年度～2025年度）

- ・当社の今後の環境負荷の目標は下記のとおりです。
- ・環境経営目標は2022年度を基準年度として計画しました。

※年度は4月から翌年3月とします。

項 目	単 位	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
		実績(基準年度)			
全社二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2 (参考)	256,106	253,545	250,984	248,423
電力使用量の削減	kWh	9,557	9461 1%減	9366 2%減	9270 3%減
ガソリン使用量の削減	リットル	13,754	13616 1%減	13479 2%減	13341 3%減
軽油使用量の削減	リットル	85,203	84351 1%減	83499 2%減	82647 3%減
一般廃棄物(総量)の削減	t	適正管理に努めます。			
水使用量の削減	m3	40.0	39.6 1%減	39.2 2%減	38.8 3%減
グリーン購入推進	品目/年	2	7	基準年度を維持	基準年度を維持
本業におけるエコ活動 (自社設備の省エネ改善, 顧客へのエコ提案等)	件数/年	6	6	6	6
地域清掃活動の実施	回数/年	3	基準年度を維持	基準年度を維持	基準年度を維持

備考： 購入電力の二酸化炭素調整後の排出係数は基準年度(2022年度)の九州電力の数値
(0.462kg-CO2/kWh) を使用しています。

備考：削減目標は車両台数の増加に伴い事業形態が類似の2022年度の実績値を基準値にします。

備考：全社二酸化炭素排出量は、上記電力、ガソリン、軽油の他、LPGを含みます。

備考：自社からの産業廃棄物・一般廃棄物の発生は少なく、可能な限り再生利用に努めています。従って目標設定せず適正管理に努めます。

備考：当社では化学物質の使用はありません。

5.主な環境経営計画の実施内容

(2023年度～2025年度)

全社二酸化炭素排出量の削減

取組目標		責任者	達成手段	
1	電気使用量の削減	推進者	1	エアコン温度設定を夏は高め、冬は低めに設定する
			2	こまめに電気のスイッチOFF(PC、エアコン、コピー機など)
			3	節電モードのある機器は設定を変更する
			4	消費電力の高い古い機器を新しいものに取替える
			5	少エネ電球類への順次取替え
2	軽油・ガソリン使用量の削減	推進者	1	アイドリングストップ実行 ・ エコ運転の実行
			2	作業経路の見直し、効率的な作業推進

一般廃棄物排出量の削減

取組目標		責任者	活動項目	
現状維持に努める		推進者	1	分別の推進、紙類、段ボール類のリサイクル

水使用量の削減

取組目標		責任者	活動項目	
1	節水活動と河川水の有効活用	推進者	1	水使用量の把握に努め、削減方法の検討をする
			2	節水用の蛇口を取り付ける
			3	現在導入済みの散水車による河川水の有効活用
			4	日常の車輛清掃はバケツ水でのふきあげで行う
			5	蛇口付近に節水ステッカーを貼る等活動の推進

グリーン購入

取組目標		責任者	活動項目	
1	グリーン購入の推進	推進者	1	カタログ、HP等による情報収集、調査
			2	

本業におけるエコ活動

取組目標		責任者	活動項目	
1	自社設備の省エネ改善 顧客へのエコ提案等	推進者	1	省エネ、排ガス対策型車両への定期的な入れ替え
			2	顧客への積極的な提案(環境に優しい分別方法等)
			3	顧客・市民への啓蒙活動(チラシ配布等)

地域清掃活動の実施

取組目標		責任者	活動項目	
1	地域清掃活動の実施	推進者	1	継続可能な計画設定
			2	地域のイベント参加
			3	全員参加

6. 環境経営目標の実績とその評価

(2023年4月～2024年3月)

※年度は4月から翌年3月とします

項 目	単 位	2023年度	2023年度	達成率	判定
		目標	実績	目標／実績	
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2 (参考)	253,545	238,732	106.2%	○
電力使用量の削減	kWh	9,461	10,756	88.0%	×
ガソリン使用量の削減	リットル	13,616	11,971	113.7%	○
軽油使用量の削減	リットル	84,351	79,826	105.7%	○
一般廃棄物(総量)の削減	t	適正管理(リサイクル)に努める			
水使用量の削減	m3	39.6	46.0	86.1%	×
グリーン購入推進	品目	2	2	—	○
本業におけるエコ活動 (自社設備の省エネ改善, 顧客へのエコ提案等)	件数/年	6	6	100.0%	○
地域清掃活動の実施	回数/年	3	3	100.0%	○

備考: ○ 達成率97%以上、△ 90%以上～97%未満、× 90%未満

備考: 購入電力の二酸化炭素調整後排出係数は基準年度(2022年度)の九州電力の数値
(0.462kg-CO2/kWh) を使用しています。

備考: 全社二酸化炭素排出量は、上記電力、ガソリン、軽油の他、LPGを含みます。

備考: 自社からの産業廃棄物の発生は少なく、可能な限り再生利用に努めています。

従って、目標設定せず適正管理に努めます。

備考: 当社では化学物質の使用はありません。

7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

取組結果と評価、次年度の取組内容は下記のとおりです。

環境経営目標		達成状況・評価
1 全社二酸化炭素排出量	達成	電気使用量は多くなったが、ガソリン使用量、軽油使用量の削減効果が大きく、全社二酸化炭素排出量は目標を達成した。今後も二酸化炭素排出量の削減に取り組む。
	未達成	夏の暑さが続きエアコン利用が増え目標達成できなかった。今後も節電の努力をしていく。
	達成	目標を達成できた。今後も各自が自覚しエコドライブに努める。
	達成	目標を達成できた。今後も省エネの努力をしていく。
一般廃棄物(総量)の削減	達成	発生量は大変少ないが、今後も分別の強化によるリサイクルを継続する。
水使用量の削減	未達成	節水に心掛けたが、目標は未達成となった。今後も上水使用量削減を図って行く。最終処分場の散水は河川水を使用している。
グリーン購入の推進	達成	購入品が少なかった。今後は目標の見直しが必要。備品等の購入時はグリーン購入の推進を図る。
本業におけるエコ活動 (自社設備の省エネ改善、 顧客へのエコ提案等)	達成	お客様の廃棄物を確認し、更に分別が必要であると判断したものは随時指導している。今後も継続する。
地域清掃活動の実施	達成	年に3回、近隣道路の除草清掃活動を定期的実施している。今後も定期的に実施していく。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 当社の事業活動における遵守すべき主な環境関連法規等は次の表の通りです。。

(遵守結果)

・廃棄物の処理及び清掃に関する法律	適
・廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令	適
・廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則	適
・使用済自動車の再資源化等に関する法律	適
(自動車リサイクル法)	適
・道路交通法・道路運送車両法・道路法	適
・改正フロン排出抑制法	適

(2) 遵守状況

当社は、環境活動の取り組みの一環として、定期的に環境関連法規の遵守状況を確認しており、環境関連法規への違反はありません。また当局並びに地域からの訴訟等についても同様にありません。

2024年7月30日

環境管理責任者 川原 正彦

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

トラックスケールの導入により残容量を正確に把握し、搬入価格の改定を行い今後の経営計画に役立てる予定にしています。

また、法で定められた維持・管理を適切に実施し、処分場の定期巡回と点検を適切に行い、展開検査時には事業者に分別の強化や再資源化への呼びかけを行っています。

浸透水は定期的に採水し水質検査を適切に行っています。水質検査は現在までに問題は発生していません。

以上

2024年7月30日

株式会社 光島

代表取締役 田中 正人

10. 環境活動の紹介

1) 地域清掃活動の実施

近隣道路の清掃活動を年に3回実施しています。



2) 水道水の節約

河川より給水した水を場内処理場の散水に利用しています。

